

こころとからだのけんこう

学校給食

12

December 2024
Vol.75 No.841

● 特集

学校農園を生かす



団体特別賞受賞でサプライズ!
『おいしい給食』の市原隼人さんらが
学校にやってきた

きょうの給食なーに?

「埼玉県」

1

『13人のリアルストーリー 栄養士・管理栄養士って こんな仕事しています』

栄養士・管理栄養士という仕事について、学校、自治体、企業、給食受託会社など、さまざまな職場で働く13人の実態を詳しくまとめているのが本書です。学校給食の仕事内容は、千葉県船橋市の日野佳奈先生が担当し、1日の仕事の流れからやりがいなど、何を大切に仕事をしているかが語られています。

AIの普及の中で栄養士・管理栄養士はどのような存在であるべきか、(公社)日本栄養士会・中村丁次会長の特別寄稿も必見です。



四六判ワイド

212ページ

定価1,540円(税込)

女子栄養大学出版部

2

『シニアひとりにちょうどいい マグカップごはん』

村上祥子 監修

マグカップを使って電子レンジだけで作れる画期的なアイデアレシピを、111品も集めたレシピ集。メインのおかずと汁物が紹介されているので、一品ずつ組み合わせれば一汁一菜の献立が完成します。スープジャーに移し替えれば、お弁当にもぴったりです。



AB判

96ページ

定価990円(税込)

宝島社



今月の
プレゼント

PRESENT

応募締切 2025年1月15日

アンケート(左ページ)ご回答の方へ、抽選の上、当コーナーでご紹介の書籍をプレゼント致します。ご応募お待ちしております!

3

『ニッポンはおいしい! 食と農から未来は変わる。 地域に豊かさをもたらす女性たちの活躍』

金丸弘美 著

食と農の現場で奮闘する女性にスポットを当て、丁寧な取材を基に、その活躍ぶりを生き生きと描いた実践活動レポート。著者は、食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサーとして、数多くの農村や学校給食の現場を取材し、食からの地域再生、食育、食のワークショップなどをテーマに発信を続けている金丸弘美氏です。

章立ては以下の6つからなり、全部で12の事例が紹介されています。【第1章：消費者との接点を見出した新たな食と農／第2章：食と農と体験を離島や農村の観光に繋ぐ／第3章：海外からの視点と連携を生み出した新たな挑戦／第4章：持続社会と地域経済に繋ぐ農業／第



四六判

216ページ

定価2,090円(税込)

理工図書



5章：地域の食と環境の豊かさを人々に繋ぐ／第6章：都市の農業での新たな挑戦】

事例には、オーガニック朝市や、新鮮な海産物が並ぶ道の駅、年間180種類ものジャムを製造・販売するジャム屋さん、おいしい食体験ができる宿を紹介するWEBサイトなどなど、女性ならではの柔軟な発想力や行動力、仕事への情熱が詰まっており、読み応えがあります。

近年、農家の高齢化や後継者不足、食料自給率の低下、気候変動など、食と農を取り巻く状況は厳しさを増していますが、サブタイトルの通り、「食と農から未来は変わる」のではないかと、そんなふう感じさせてくれる一冊です。